

【シラバス I】 令和 8 年度 学習計画・学習評価計画

教科名	地理歴史	科目名	地理総合			単位	2 単位
学年	第 2 学年	組	1-9 組	担当	山崎・赤坂・谷津		
教科書	高等学校新地理総合（帝国書院）						
目的と目標	<p>【目的】 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。</p> <p>【目標】 ①持続可能な社会づくりを目指し、環境条件と人間の営みとの関わりに着目して現代の地理的な諸課題を考察する。②グローバルな視座から国際理解や国際協力の在り方を、地域的な視座から防災などの諸課題への対応を考察する。③地図や地理情報システムなどを用いることで、汎用的で実践的な地理的技能を習得する。以上、3 点の能力の育成を図る。</p>						
コンピテンシー	○活用する力、●考える力、●見つける力、◎関係する力						
授業と学習について	・教科書を中心に、地図帳・資料集・プリント使用して、幅広く地理的事象を扱うため、身近な事例を意識しながら、積極的に授業に参加すること。授業の復習と問題演習が学力の定着に重要であるので、特に定期考査に向けて計画的に取り組むこと。						

主に用いる評価の観点

	単元・学習内容	知識 技能	思考 判断 表現	主体 学習 態度	補足事項
4 月	【結びつきを深める現代世界】 ・現代世界の国家と領域 ・グローバル化する世界	○ ○	● ●	◎ ◎	
5 月	【結びつきを深める現代世界】 ・グローバル化する世界 【地図と地理情報システム】 ・地球上の位置と時差	○ ○	● ●	◎ ◎	
6 月	・地図の役割と種類 【生活文化の多様性と国際理解】 ・世界の地形と人々の生活 ・日本の自然環境	○ ○ ○	● ● ●	◎ ◎ ◎	
7 月	【自然環境と防災】 ・地震津波と防災 ・火山災害と防災	○ ○	● ●	◎ ◎	
8 月	【生活文化の多様性と国際理解】 ・生活文化の多様性	○	●	◎	
9 月	【生活文化の多様性と国際理解】 ・世界の地形と人々の生活 ・日本の自然環境	○ ○	● ●	◎ ◎	

	単元・学習内容	知識 技能	思考 判断 表現	主体 学習 態度	補足事項
10月	【生活文化の多様性と国際理解】 ・世界の気候と人々の生活	○	●	◎	
11月	【生活文化の多様性と国際理解】 ・世界の気候と人々の生活	○	●	◎	
12月	【自然環境と防災】 ・気象災害と防災 ・自然災害への備え	○ ○	● ●	◎ ◎	
1月	【地球的課題と国際協力】 ・地球環境問題 ・資源エネルギー問題 ・人口問題	○ ○ ○	● ● ●	◎ ◎ ◎	
2月	【地球的課題と国際協力】 ・食料問題 ・都市・居住問題	○ ○	● ●	◎ ◎	
3月	【地球的課題と国際協力】 ・複雑に絡み合う地球的課題	○	●	◎	
その他					

※育成するコンピテンシー 《○知識・技能 ●思考・判断・表現等 ◎主体的に学習に取り組む態度》

- | | | | |
|--------|--------------|--------|----------------|
| ○理解する力 | 【知識】【情報】 | ○活用する力 | 【言語活用】【情報活用】 |
| ●伝える力 | 【説明力】【表現力】 | ●考える力 | 【論理的思考】【批判的思考】 |
| ●生み出す力 | 【企画力】【創造力】 | ●見つける力 | 【課題発見】【課題解決】 |
| ●協力する力 | 【協調力】【協働力】 | | |
| ◎自律する力 | 【自己認識】【計画管理】 | ◎やり抜く力 | 【責任感】【探究心】 |
| ◎導く力 | 【統率力】【挑戦力】 | ◎関係する力 | 【他者理解】【感性】 |